

平成29年度

第1回 市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書広報課

## 1 アンケートの概要

調査対象者	平成29年度 市政モニター 181人
調査期間	平成29年7月3日(月)～平成29年7月17日(月)
調査方法	郵送またはインターネット
テーマ	① 新居浜市シティブランド戦略の推進について ② 事故のない楽しい太鼓祭りの実現について ③ 消費生活センターの周知度について

### 回答率

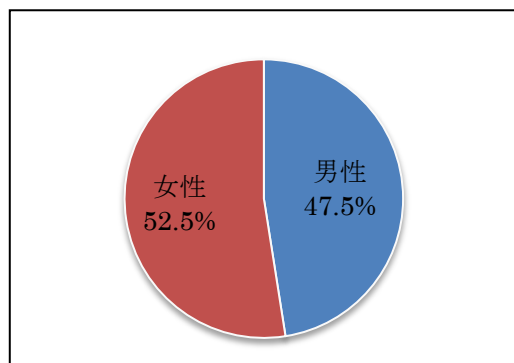
テーマ	モニター数(人)	回答者数(人)	回答率
①	181	161	89.0%
②	181	159	87.8%
③	181	157	86.7%

## 2 市政モニター内訳(※平成29年7月3日時点)

### <性別>

(単位:人)

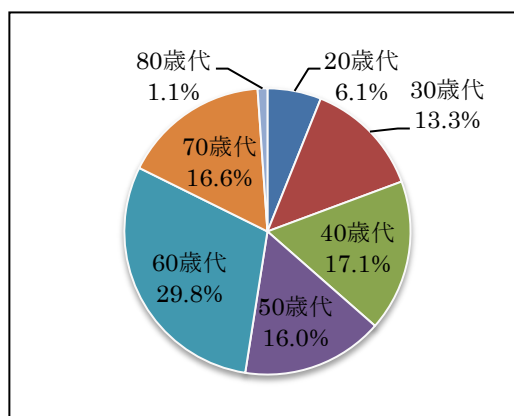
男性	86 (47.5%)
女性	95 (52.5%)
合計	181 (100.0%)



### <年代別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
20歳代	2	9	11 (6.1%)
30歳代	4	20	24 (13.3%)
40歳代	8	23	31 (17.1%)
50歳代	12	17	29 (16.0%)
60歳代	36	18	54 (29.8%)
70歳代	22	8	30 (16.6%)
80歳以上	2	0	2 (1.1%)



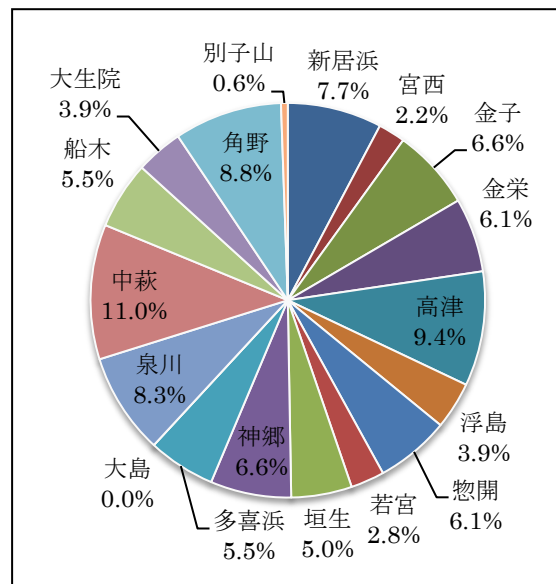
※年齢は平成29年4月1日時点

### <居住地域(小学校校区)別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
新居浜	2	12	14 (7.7%)
宮西	3	1	4 (2.2%)
金子	10	2	12 (6.6%)

金栄	3	8	11 (6.1%)
高津	10	7	17 (9.4%)
浮島	4	3	7 (3.9%)
惣開	3	8	11 (6.1%)
若宮	4	1	5 (2.8%)
垣生	3	6	9 (5.0%)
神郷	7	5	12 (6.6%)
多喜浜	3	7	10 (5.5%)
大島	0	0	0 (0.0%)
泉川	12	3	15 (8.3%)
中萩	6	14	20 (11.0%)
船木	5	5	10 (5.5%)
大生院	2	5	7 (3.9%)
角野	8	8	16 (8.8%)
別子山	1	0	1 (0.6%)



#### 〈回答方法 種別〉

(単位：人)

郵送モニター	92 (50.8%)
Eメールモニター	89 (49.2%)
合計	181 (100.0%)

#### 〈選任方法 種別〉

(単位：人)

公民館推薦	95 (52.5%)
公募	86 (47.5%)
合計	181 (100.0%)

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

### 3 調査結果

#### テーマ② 事故のない楽しい新居浜太鼓祭りの実現について

##### 【調査趣旨】

市内太鼓台関係者や関係団体等で組織している新居浜市太鼓祭り推進委員会（事務局：新居浜市運輸観光課）では、毎年10月の新居浜太鼓祭りにおいて、昨年までに6年連続で太鼓台同士の鉢合わせが発生している現状を踏まえ、委員会内に平和運行検討専門部会を設置し、事故のない楽しい秋祭り実現に向けた方策について検討を行っています。

しかしながら、新居浜太鼓祭りは、各地区自治会や神社等が関係する宗教行事であることから、政教分離により市は祭りや太鼓台そのものの運営に関与することができず、対応に苦慮しているのが現状です。

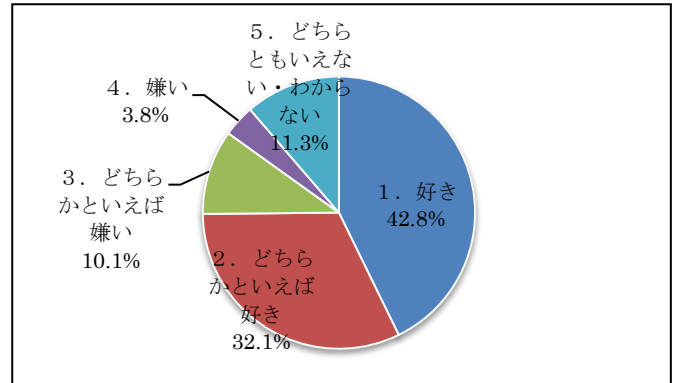
そこで、今回のアンケートにより、太鼓台の鉢合わせ等、新居浜太鼓祭りの平和運行について、新居浜市民の皆さんの意識や意見をお伺いし、事故のない楽しい秋祭り実現に向けた方策の更なる検討に活かしてまいります。

(担当課：運輸観光課)

(※問1はモニター属性確認のための設問であり、省略)

問2. あなたは、新居浜太鼓祭り（秋祭り）が好きですか？次のうち、最もあてはまるものを1つだけお選びください。（1つ選択）

1. 好き	68人
2. どちらかといえば好き	51人
3. どちらかといえば嫌い	16人
4. 嫌い	6人
5. どちらともいえない・わからない	18人
合計	159人

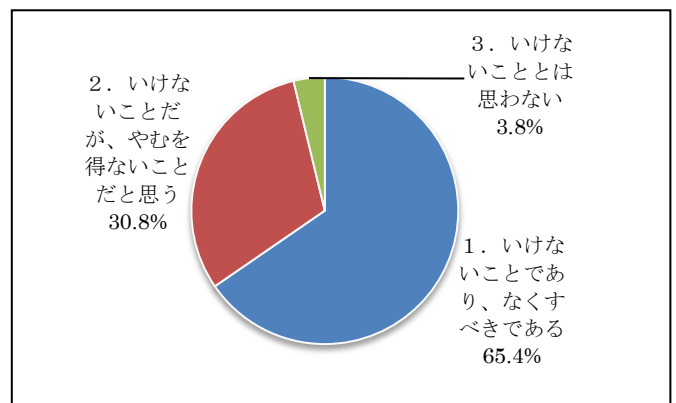


「1. 好き」(42.8%)と答えた方が最も多く、「2. どちらかといえば好き」(32.1%)を合わせると、全体の7割以上を占めています。

問3. 太鼓祭りにおける太鼓台同士の鉢合わせ（喧嘩）については、「各地区太鼓台運営委員会（協議会）」（注1）の取り決めにより禁止されています。鉢合わせについて、あなたはどのように感じていますか？次のうち、最もあてはまるものを1つだけお選びください。（1つ選択）

（注1）各地区太鼓台運営委員会（協議会）・・・  
 複数の太鼓台にて構成される団体で、各地区祭礼行事の実施主体。現在、市内には船木、角野、泉川、中萩、川東西部、川東、下郷・又野・松神子、川西、大生院の9地区があります。

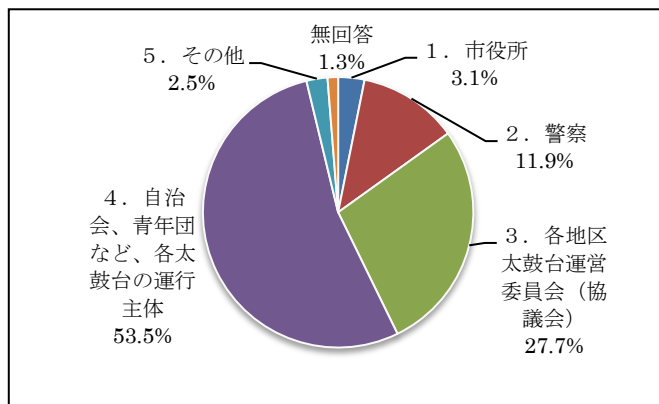
1. いけないことであり、なくすべきである	104人
2. いけないことだが、やむを得ないことだと思う	49人
3. いけないこととは思わない	6人
合計	159人



「1. いけないことであり、なくすべきである」(65.4%)と答えた方が最も多く、全体の6割以上を占めています。

問4. 鉢合わせを防止するため、市内の各団体等でいろいろな方策を実施しています。あなたは、次の各団体のうち、鉢合わせ防止のため、主に取り組む必要があるのはどこだと思いますか？最もあてはまるものを1つだけお選びください。(1つ選択)

1. 市役所	5 人
2. 警察	19 人
3. 各地区太鼓台運営委員会（協議会）	44 人
4. 自治会、青年団など、各太鼓台の運行主体	85 人
5. その他	4 人
無回答	2 人
合計	159 人



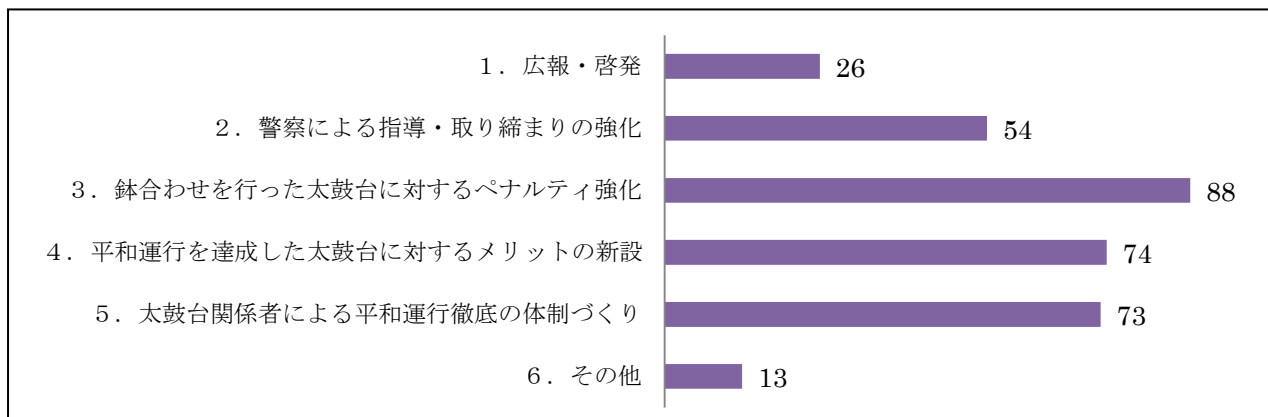
「4. 自治会、青年団など、各太鼓台の運行主体」(53.5%)と答えた方が最も多く、全体の5割以上を占めています。次いで、「3. 各地区太鼓台運営委員会（協議会）」(27.7%)、「2. 警察」(11.9%)の順となっています。

問5. 問4で「5. その他」と回答された方にお伺いします。具体的に、鉢合わせ防止のため、取り組む必要がある主体（団体）を自由に記入してください。(自由記入)

- ・ 1つの団体ではできないと思います。主体ではなく、各団体が同じ立ち位置で横展開する感じがいいのではないのでしょうか。
- ・ 現状、それぞれの立場で一生懸命に取り組んではいると思います。今では太鼓祭りは新居浜市の祭りとして認知されてきており、市や警察の指導力が問われてくると思います。よって、どこが主に取り組むべきか1つに絞れません。
- ・ 昔から、どんな対策をとっても鉢合わせする時はすると思うので、特に取り組みを強化してほしいとは思わない。
- ・ 鉢合わせをいけないこととは思わないので、答えられない。

問6. あなたは、太鼓台同士の鉢合わせをなくすため、どのような方策に力を入れるべきだと思いますか？あてはまるものを全てお選びください。(複数選択)

1. 広報・啓発	26人
2. 警察による指導・取り締まりの強化	54人
3. 鉢合わせを行った太鼓台に対するペナルティ強化(運行停止期間延長、罰金等)	88人
4. 平和運行を達成した太鼓台に対するメリットの新設	74人
5. 太鼓台関係者による平和運行徹底の体制づくり	73人
6. その他	13人



「3. 鉢合わせを行った太鼓台に対するペナルティ強化」(88人)と答えた方が最も多いほか、「4. 平和運行を達成した太鼓台に対するメリットの新設」(74人)、「5. 太鼓台関係者による平和運行徹底の体制づくり」(73人)などが、力を入れるべき方策として多く挙げられています。

問7. 問6で「6. その他」と回答された方にお伺いします。具体的に、どのような方策に力を入れるべきだと思いますか？自由に記入してください。(自由記入)

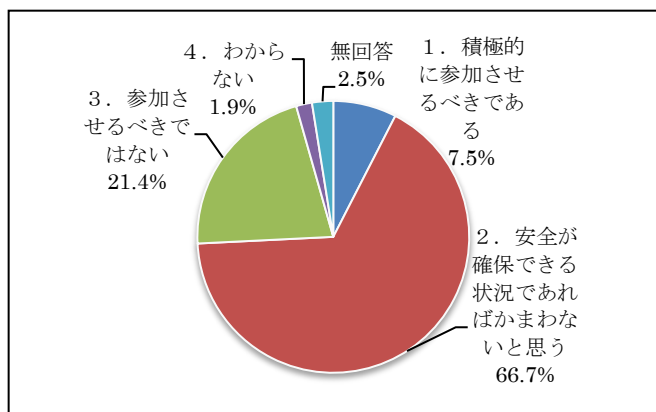
- ・鉢合わせをした太鼓台のペナルティを考へても甘いので、地区の自治会が協力しない(地域の人たちの協力ができなくする)という取り決めにする。太鼓祭りは自分(かき夫)だけでなく、市民、観光客と共にするもの、そして神事であることを一番に重視すべきことであること、皆が幸せになることを祈っての祭りであることを徹底的に根付かせる。
- ・青年団や自治会役員、太鼓台運営者など全員集めて、警察や行政、太鼓台運営委員会から講話すべき。代表者だけに伝達してもだめ。全員が聞き、太鼓台の大切さを感じる。各地区ごとに自治会館や太鼓倉を使って実施する。
- ・かき夫個人の責任の明確化と処罰
- ・トラブルがあっても太鼓台運営委員会、協議会には何のペナルティーもないのが現状であると思う。太鼓台運営委員会と協議会に責任を持たせることが大事であると思う。
- ・「鉢合わせがあつてなんぼ…」と思っている人が多いので、なくそうと思つてなくなるものではない。鉢合わせも太鼓台の一部として考へているのをどうにかしないといけないと思います。
- ・指揮者は自治会で認めた地元の青年団員で固める。かき夫にはかき夫登録した者以外を入れない、入れる場合は地元の保証人を必要とする。自治会がもっと太鼓台の運行に関与して青年団の勝手にさせない。
- ・ルールを決めて太鼓台の鉢合わせをしたら良いのでは？人間同士ではなく太鼓台の鉢合わせは誰もが

たいと素直に思っていると感じます。そういった場があれば無駄な喧嘩（鉢合わせ含む）も少なくなるのではないのでしょうか。

- ・鉢合わせ（喧嘩）ありきの新居浜太鼓祭りなので、なくす必要はない。見世物として、場所と時間とルールを決め、エントリーさせて、見物エリアも決めてショーにすればいい。それ以外は永久出場停止とする。公共物の損傷や人を殴るなどの行為は犯罪で処分する。
- ・鉢合わせはなくさないでほしい。私の周りの10代、20代の若者は太鼓祭りが大好きで都会に出ずに新居浜に残ってくれています。その方たちの期待を裏切らないように太鼓祭りをもっと盛り上げたい。
- ・鉢合わせ特区の設立。山根公園で好きな人だけが集まってやればいい。好きな人だけが見に行けばいい。
- ・かき夫の皆さんが熱くなれる何かの競技を考える。
- ・松山の神輿の鉢合わせのように安全な方法を考えるべき。
- ・根本的になくなるものを議論しても意味がない。取り締まりを強化するほど、祭りに参加している人間はさらに暴徒化する可能性がある。鉢合わせをすれば罰金いくら、とかでは鉢合わせはなくなり、新居浜太鼓祭りという祭事すら終わってしまう。他の自治体のお祭りではどのような取り締まりをしているか参考にしてみてはどうかと思う。

問8. 太鼓台の鉢合わせ防止やかき夫確保のため、市内の高校生もかき夫として参加できるようにすべきだとの意見があります。あなたは、高校生のかき夫参加についてどう思いますか？最もあてはまるものを1つだけお選びください。（1つ選択）

1. 積極的に参加させるべきである	12人
2. 安全が確保できる状況であればかまわないと思う	106人
3. 参加させるべきではない	34人
4. わからない	3人
無回答	4人
合計	159人



「2. 安全が確保できる状況であればかまわないと思う」（66.7%）と答えた方が最も多く、全体の6割以上を占めています。

問9. その他、太鼓祭りにおける太鼓台同士の鉢合わせに関して、ご意見がございましたら自由に記入してください。（自由記入）

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

- ・過去における鉢合わせの原因を検証し、どこに要因があるのか関係者が周知してほしい。信賞必罰をより明確にする。
- ・今までに様々な対策が講じられてきたにもかかわらず、鉢合わせがなくなるのは各運営協議会の対応が甘いと思う。次年度に絶対に出させないようにする、他の太鼓台に迷惑金を払わせる、安全運行した太鼓台にはフェアプレイ費を渡す、何か特典を与える、など色々案をだして検討すべき。
- ・鉢合わせをした太鼓台へのペナルティが軽すぎると思います。

- ・新居浜太鼓祭りは県外でもとても人気です。勇壮華麗な太鼓のかき比べがメインのはずなのに、一部の心無い人たちの行動でイメージを壊すのはやめてほしい。
- ・地区太鼓台運営委員会の取り決めにより鉢合わせを禁止されているが、効力がないと感じる。警察の取り締まり（法的手段）強化が必要と思う。
- ・自治会のかき夫不足による相互応援はよいが、外部団体の支援はコントロールできないので禁止すればよい。特に人同士の暴行や危険工具の使用は、警察が迅速に、かつ厳しく取り締まるとよい。
- ・いくら指導、取り締まりを強化、ペナルティ強化等をして鉢合わせが行われるのは、太鼓台を担ぐ一人ひとりの平和運行への意識が低いからだと思います。太鼓台運営委員会、各太鼓台責任者は担ぐ人の意識改革を行うべきです。また、太鼓祭り推進委員会は市民に対しても平和運行の意義を今以上に訴えていくべきだと思います。
- ・見物客の中にも鉢合わせを煽るような風潮もある。見物客の心構えも肝心と思います。
- ・鉢合わせを面白がる雰囲気がずっと続いている。その影響を子どもたちがどう受け止めていくか、深く考えてほしいと思います。子どもたちの目には、物を壊して喜ぶ大人たちの存在として映っていることを認識していただきたいです。ぜひ無くしてほしいと強く希望します。
- ・鉢合わせを見て育っている人にとっては、その時の高揚感が特別なものとして残っているのだと思います。でも人命にも関わることだということを、皆が再認識すべきだと思います。
- ・新居浜太鼓祭りは絶対と言っていいくらいメジャーな祭りにはならないと思う。祭りには鉢合わせがつきもの期待している不届き者が多くいるから、新居浜祭りがある限り鉢合わせはなくならないと思う。警察と運営委員会、行政との話し合いで3年程祭りを休んではどうか。
- ・マナーとカルールを守るようにPRするとよい。
- ・松山道後秋祭りの神輿の鉢合わせは楽しく見ることができます。重量感の違いを別にして、新居浜では何が問題でしょうか。県内県外の危険度の高い同様な祭りの施策や実態から学べるものはないでしょうか。
- ・岸和田のだんじり祭りを参考にすべき。また、平和運行を阻害するものは排除するシステムを構築する上部地区で行われている「寄せ太鼓」は観光客に感動されます。鉢合わせは他から来られた観光客には全く魅力がありません。
- ・新居浜在住2年目ですが、たまたま太鼓台の喧嘩が起きた近辺に住んでいて、怖くて室内から外の様子を伺っていると、喧嘩を見たい観客が無断で民家に侵入したり、塀を乗り越えて道路に出たり等、将来も新居浜に住み続けるか悩むほど治安の悪さが印象的でした。
- ・「新居浜太鼓祭りは宗教行事であるから、市は祭りや太鼓台そのものの運営に関与することができない」とあるが、ポスターの製作や配布状況などを見ると、市も観光の一つとして関わっているように思います。太鼓祭りにおける太鼓台同士の鉢合わせについて検討するのなら、政教分離の立場をどこまではっきりさせるかが大切だと思います。
- ・太鼓祭りにおける鉢合わせは、新居浜市の観光行事として恥ずかしいことであり、運行許可に自治会長の承認が必要なことを考えれば、資金面を含めて、鉢合わせをした太鼓台に関しては、今後自治会は関与しないことを徹底しないと平和運行は実現しないと思う。
- ・見物客が鉢合わせを期待している感じも見受けられる。突拍子もない意見ではあるが、市営球場や河川敷などの広い場所で、相手も決めてイベントのような形でやらせればよい。そうすれば人が人も出ないし、鉢合わせ自体も馬鹿らしくなくなってなくなるかも。
- ・一定の場所を確保しての観光目的の鉢合わせも少しは必要と思う。
- ・かき夫減少の折、祭りは神事であることを子ども時代から根付かせる。鉢合わせは松山の神輿の鉢



合わせレベルに持っていく。あくまで観光、「かつてはけんか太鼓と呼ばれていた時代もありますよ」と言えるように。上部のかきくらべ寄せ太鼓が、川西・川東でもできるように新居浜太鼓祭りを高いレベルにしていきたい。意識改革が必要です。

- ・高校生のかき夫参加について、鉢合わせが毎年当たり前のように起こる現状では、高校生は難しいと思う。平和運行できたところだけ、とか制限はつけるべきだと思います。
- ・鉢合わせのない可能性の高い上部地区であれば高校生の参加は積極的に行えばよいと思う。
- ・高校生のかき夫参加は、「飲酒・喫煙を含めて」安全が確保できる状態であれば構わないと思う。
- ・18歳以前の参加は反対。そんな意見があることが驚きです。鉢合わせについては、パフォーマンスとしての小競り合いはいいかと思うが、負傷者が出るのはいけない。
- ・かき夫がないなら運行しなければいい。鉢合わせがあるかもしれない、確実に鉢合わせを廃止できないものに未成年を関わらせてはいけない。

#### <まとめ>

新居浜太鼓祭りは、言うまでもなく地域住民が主役の秋祭りです。本アンケートは、事故のない楽しい秋祭り実現を目指す中で、太鼓台の鉢合わせに対する地域住民の方々の意識を把握したく実施しました。

設問のうち、問2においては、回答者のうち約4分の3の方が、太鼓祭りが「好き」「どちらかといえば好き」とお答えいただいております。太鼓祭りが新居浜の伝統行事として多くの市民から好感をもたれていることがわかりました。しかし、その一方で、問3において、6割以上の方が「鉢合わせはいけないことであり、なくすべきである」とお答えいただいていることから、多くの方は、鉢合わせを伝統行事としてとらえておらず、平和運行を望んでいるといえます。

しかしながら、回答者のうち約4%の方が、「鉢合わせはいけないこととは思わない」とお答えいただいております。鉢合わせを太鼓祭りの一部としてとらえ、望んでいる方もいることがわかります。

また、自由意見の内容も含め、祭礼行事の主催者である各地区太鼓台運営委員会（協議会）や各太鼓台の運行主体に対し、何らかの取組や対応を求める意見が多く寄せられているほか、問6においては、太鼓台の鉢合わせをなくすためには、半数以上の方が「鉢合わせを行った太鼓台に対するペナルティの強化」に力を入れるべきとお答えいただいております。太鼓台関係者により一層の取組が求められているといえそうです。

市内高校生のかき夫参加については、回答者のうち約3分の2の方が「安全が確保できる状況であればかまわないと思う」とお答えいただいております。高校生のかき夫参加については、伝統文化の継承や祭りの担い手確保等のメリットがありますが、鉢合わせによる負傷や飲酒・喫煙、学業への影響等、様々なリスクが懸念されます。いずれにしても、保護者や学校が安心して祭りに参加させられる環境づくりが必要不可欠であると思われます。

本テーマについては、自由意見においても非常に多くのご意見をいただきました。これは、太鼓祭りに対する市民の関心が高いことの表れといえるかと思っております。市においては、今回いただいた多くのご意見を参考にしながら、鉢合わせや事故による負傷等で悲しむ人が出ないように、また、太鼓祭りが市民の誇りであり続けられるよう、平和運行に向けた啓発や太鼓台関係者への働きかけに努めてまいります。

(担当課：運輸観光課)